

## 議事録

1. 件名：「令和元年度 耐震重要設備に係る耐力評価の検討」に係る打合せ
2. 日時： 令和元年12月3日(火) 14:00～15:45
3. 場所： 原子力規制庁 16階会議室
4. 出席者： 原子力規制庁  
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門  
大橋首席技術研究調査官、日比野統括技術研究調査官、日高主任技術研究調査、  
東技術研究調査官  
  
三菱重工業株式会社  
パワードメイン 原子力事業部 プラント設計部 他1名  
  
MHI NS エンジニアリング株式会社  
構造安全技術部 1名
5. 要旨：  
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、選定した耐震重要設備の既往振動試験を限界試験の実施の有無等の観点から精査し、耐力評価の体系化を含めたフラジリティ評価に係る耐震重要設備の耐力に対する知見を拡充させるための安全研究を平成29年度から令和元年度にかけて実施している。  
三菱重工業株式会社が本年度に請負契約を落札した「令和元年度 耐震重要設備に係る耐力評価の検討」に係る打合せを実施した。  
本打合せでは、下記の3つの主要な事項について、意見交換・議論を行い、技術的な課題と考え方等を整理するとともに、確認した。
  - 1) 軸対称シェルモデルに係る耐力評価の進捗報告
  - 2) 静的弾塑性座屈評価に用いる入力波形の検討状況報告
  - 3) 本事業の中間報告等のスケジュール
6. その他  
特になし。